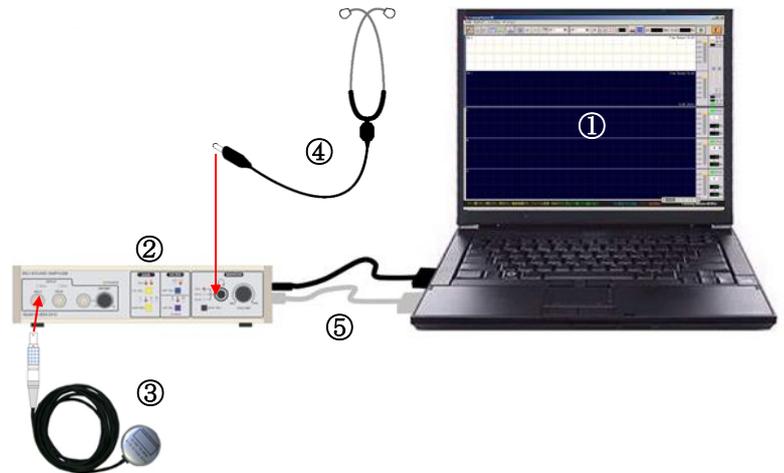


聴診教育システム Training Master 2012

■構成

- ①：PC（パーソナル・コンピュータ）
 ②：BSA（バイオ・サウンド・アンプ）
 ③：バイオ・サウンド・センサ
 ④：耳管式イヤホン
 ⑤：USBケーブル（×2）



---注 記---

- 1.①PCにはソフトウェア(TM-2012/SYS)がインストールされている
 2.②には集録デバイスが組み込まれている。
 ※図は P/N 025 1 B015 の構成です。

No	名 称	型式番号	チャンネル数	定価(万円)	備 考
1	トレーニング・マスター2012/SS (P/N 0251B010)	TM-2012/SS	2	150	PC は含まれない
2	N/A				
3	トレーニング・マスター2012/STD (P/N 0251B015)	TM-2012/STD	2	155	標準品（含む PC）
4	N/A				

■特 徴

BSA:バイオ・サウンド・アンプ

- 生体音アンプは最大2チャンネルまで対応可能(ソフトウェアバージョンアップにて対応可能)
 周波数特性：HPF(30、120Hz)及びLPF(800、1600及び2400Hz)それぞれ切替可能
 ゲイン設定：1,2,5及び10の4段階切替
- 集録中の生体音のモニターが可能
- ECG 信号等の外部信号を取り込み可能な DC アンプを標準装備

ソフトウェア:TM-2012/SYS

- Windows XP 以降の OS に対応
- 簡易波形編集機能（部分保存）
- 生体音データはWAVEファイルとして保存可能
- 任意の波形の再生可能（元波形, L,M,またはH波形）
- リアルタイムで集録可能（最大120秒）



警告

本装置は、**教育・研究目的用の機器**であり医療機器ではありません。
 従って、本装置による**診断及び医療行為は出来ません**。

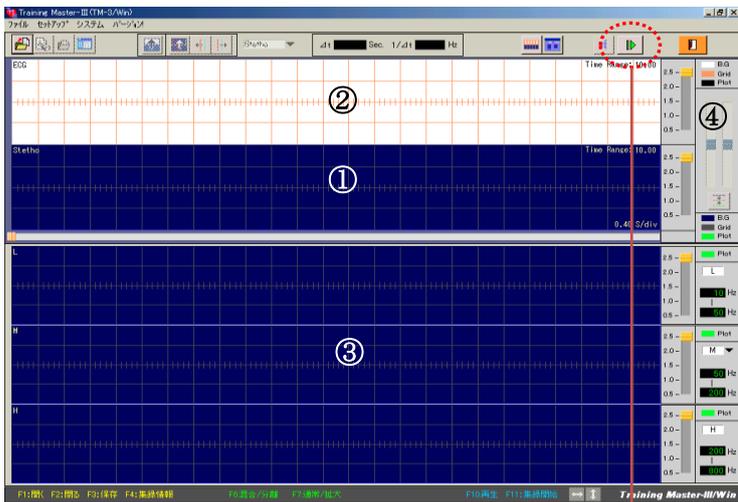
仕 様

■ハードウェア

<input type="checkbox"/> PC <ul style="list-style-type: none"> OS Windows'XP 以降 CPU PentiumMMX 233MHz 以上 メモリ 512MB 以上 ディスプレイ XGA(1024×768) 以上 USB 2.0 ×2 (一つは電源用) <input type="checkbox"/> 集録デバイス (BSA に内蔵) <ul style="list-style-type: none"> 最大サンプリングレート 10KHz 分解能 16Bits 基準電圧 10V インターフェイス USB 2.0 	<input type="checkbox"/> BSA <ul style="list-style-type: none"> 電源電圧 DC5V 消費電流 約180mA (アンプ部のみ) 大きさ(mm) 195(幅)×132(奥)×45(高) (突起物は含まず) 重さ 約0.7Kg アナログ入力チャンネル ×2 (現在は1チャンネルのみ使用) DC入力チャンネル ×1
<input type="checkbox"/> 標準付属品	
<ul style="list-style-type: none"> バイオサウンドセンサ ×1 ミニジャック変換ケーブル ×1 USBケーブル ×2 耳管式イヤホン ×1 	

■ソフトウェア

□メインパネル



システムを立ち上げた状態では次の操作が可能。

- ファイルの読み込み
- 集録操作 (下図の集録パネルが開く)

パネルの解説

- ①集録 (読み込み) した生体音波形を表示
- ②ECG等に外部信号を表示
- ③LMH毎にフィルタリングされた生体音波形を表示
横軸：時間 縦：強さ
- ④各種の波形操作ボタン群

□集録パネル



- ①現在集録中の波形をリアルタイムで表示
- ②集録設定パネル
 - 集録時間
 - サンプリング周波数
 - ゲイン設定

※集録中に③の操作を行うと新たに集録を開始

※その他の機能

- WAVE ファイルでの保存 (範囲指定可能)
- 波形色等の設定
- 波形編集機能 (任意の範囲の波形を保存可能)

※本仕様は予告なく変更になることがあります。予めご了承ください。